

理事長あいさつ

看護実践学会は、地方に活動拠点をもち研究を主として成果を発信する全国でも珍しい学会として活動しています。その歴史は古く、また年々入会者は増加し現在では700人を超える会に成長してきました。主な事業は、①年1回の学術集会 ②年2巻の学会誌発刊 ③看護実践力向上のための研修会 ④研究力向上のための研修会 ⑤優れた看護実践の普及活動 ⑥研究或いは看護実践活動ネットワーク支援です。

近年では多くの種類の学会があり、皆様におかれましては、どの学会に所属しようかと迷うことも多いと思います。本学会の特徴をご覧になり、是非入会をいただき、学会活動にも参加して下さるようお願いいたします。

地方に活動拠点があることは、身近に学会があるということです。つまり、学会に参加する立場だけではなく企画・主催する立場の経験が可能であること、研究指導を受けてみたい、あるいは一緒に研究をやってみたいと考えていた人と一緒に研究できる機会があること、他の機関における優れた臨床実践・看護研究実践を目にすることが可能なこと、身近な人が発表する研究論文に触れることなどが特徴です。

また、学会誌は2014年度からは年2回発刊しています。掲載された論文に対して受ける評価は高く、多くの方々に研究成果を活用いただいています。次年度も、たくさんの論文投稿が期待されます。丁寧な査読であるとの評価もいただいておりますので、皆様には多くの論文を投稿くださるようお願いいたします。2015年度からは学生会員制度も開始いたしておりますのでご利用ください。

このように、本学会は顔の見える連携をもって看護実践の質の向上にむけて、みんなの力で作り上げている学会です。さらなる本学会の発展に向けて、知の創造と確かで豊かな看護技術の実践を一緒に目指して今年度も活動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

看護実践学会理事長 稲垣 美智子
(金沢大学医薬保健研究域保健学系 看護科学領域教授)

